

### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



## ご案内

豊田市民芸館  
Toyota City Folk Arts Museum



俯瞰イメージ  
向って左側が  
新しく開館す  
る博物館  
右側が美術館

## 2024年4月26日[金] 豊田市博物館開館

世界中をフィールドに活躍する建築家・坂茂(ばん しげる)氏の設計による豊田市博物館が、豊田市美術館の隣に開館します。

庭園は、美術館と同じ米国のランドスケープ・デザイナーのピーター・ウオーカーによるもので、景観に一体感と統一感を醸し出し、両館を自然に行き来できるようデザインされています。

独創的でありながらも環境に配慮した建築で名高い坂氏の博物館と、美術館建築の名手・谷口吉生(たにぐち よしお)氏の設計による美術館の二つの名建築。

古くは縄文時代から今日までの歴史や文化、自然に関わる資料を扱う博物館と、近代以降の美術作品を通して国内外に発信し続ける美術館。

豊田市の文化拠点施設として、建築空間とコレクションのどちらも見ごたえのある二つの館を、ぜひご覧ください。

※美術館に併設する高橋節郎館は改修工事のため2024年1～12月の間休館し、2025年1月にリニューアルオープン予定です。

### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



## ご案内

豊田市は愛知県のほぼ中央に位置し、全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」としての顔を持つ一方、市域の約7割を占める森林や矢作川流域の田園が広がる恵み多き緑のまちでもあります。

本市には、約3万年前から人が住み始めた土地としての長い歴史もあり、また、豊かな自然環境や文化的背景、文物等は、私たちの営みを支えてくれるだけではなく、アイデンティティを育み、未来を拓くヒントやエネルギーをも与えてくれます。

それらを多くの人と共有し、理解し合い、ともに心の糧とする機会や場となるため、本市では、美術館と博物館、そして矢作川のほとりに建つ民芸館の3館が、各館の個性を大切にしながらもミュージアムとしての機能を携えた文化拠点施設として連携し、今後様々な活動を展開していきます。

### 豊田市美術館

1995 年開館。「美術館とは、建築の外部から内部にまで、作品と出会う感動を求めて迎える旅のための装置である」という建築家・谷口吉生氏の思いが随所に現れた美術館。

作品と空間との関係、そして鑑賞者の芸術体験をなにより考慮して展示や教育普及活動等を行っています。



### 豊田市博物館

2024 年春開館。可能な限り再生可能な材料やエネルギーを利用した21世紀を象徴する建物として坂茂氏により設計。

「みんなでつくりつづける博物館」として、“えんにち”のようなにぎわいを生む交流施設としての側面を持ち合わせています。

### 豊田市民芸館

1983 年開館。建物の一部は、東京・駒場の日本民藝館改築の際に移設されたもので、愛知県内唯一の公立民芸館。

民藝コレクションの他、平安時代中頃の猿投古窯復元穴窯や円空仏等もあり、四季折々楽しめる庭園も見どころです。





### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



Toyota  
Municipal  
Museum  
of Art  
豊田市美術館

## 豊田市美術館

2024年度、豊田市美術館では下記の展覧会を開催する予定です。春には2023年度に引き続き隣地の博物館開館に関連した現代美術展、夏休みには親子で楽しめる展覧会、秋には、美術の本質を問い、その可能性を展望する展覧会、年明けには気鋭の現代美術作家の個展、人間国宝の回顧展のほか、1年間の改修工事休館を経て新しくなった高橋節郎館のリニューアル記念展の開催を予定しています。

2024年度  
展覧会(予定)

### 未完の始まり：未来のヴァンダーカンマー

2024年1月20日 [土] - 5月6日 [月・祝] 主催：豊田市美術館



2024年4月に隣接する敷地に豊田市博物館が開館するのにあわせ、5人の現代美術作家の作品をとおして、文化表象の実践の場としてのミュージアムの未来の可能性を探ります。

ガブリエル・リコ《El Horóscopo de Jesús (Dan, Richard & Joseph)》2023年  
Courtesy of the artist and Perrotin.

### エッシャー 不思議のヒミツ

2024年7月13日 [土] - 9月23日 [月・祝]

主催：豊田市美術館、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部



グラフィックアートの可能性を追求したオランダの画家マウリッツ・エッシャー(1898-1972年)。遠近法的、幾何学的、そして構成的な手法を用いて芸術と科学とを融合させた作品は、見る人の視覚を刺激し、多くの驚きを与えてきました。初期から晩年まで、エッシャー芸術の神髄を体験コーナーを交えて紹介します。

《写像球体を持つ手》1935年、リトグラフ、31.8x21.3 cm

M.C. Escher Foundation Collection, The Netherlands

All M.C. Escher works © 2023 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

### アナーキズムと美術(仮)

2024年10月12日 [土] - 12月27日 [金] 主催：豊田市美術館



美術とはそもそも、いまだ了解できていない認識や知覚、領域を拡張してゆく行為だといえます。本展では、制度化され、統治されることへの抵抗＝アナキズムのうちに美術の本来的な性質と力を認め、近代以降、現在に至る作家たちの活動を通して、その可能性を問います。

ドットアーキテクト《コーポ北加賀屋》 photo:Yuma Harada

### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ

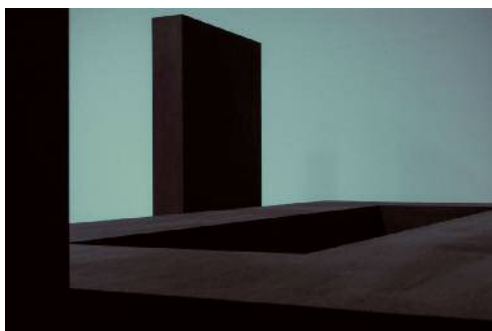


## 豊田市美術館

2024年度  
展覧会(予定)

### 玉山拓郎(仮)

2025年1月18日 [土] - 5月18日 [日] 主催: 豊田市美術館



玉山拓郎(1990年-)は絵画制作を出発点としながら、立体的な造形や光、映像、音を組み合わせたインスタレーションを展開してきた、現在最も注目を集める若手作家の一人です。美術館での初めての個展となる本展では当館の特徴的な展示空間に巨大な物体を貫入させ、未知なる領域を作り出します。

### 生誕 120 年 黒田辰秋展(仮)

2025年3月15日 [土] - 5月18日 [日] 主催: 豊田市美術館

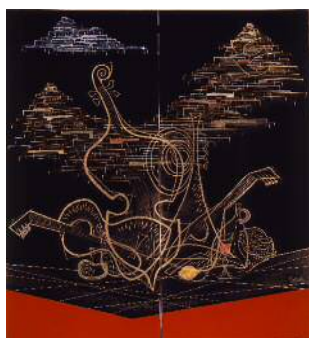


漆、貝、木竹など多様な素材を生かす高い技量と造形力により、独自の足跡を工芸史に残した黒田辰秋(1904-1982年)。華やかさとおおらかさを併せ持つ作品を文人墨客は日常的に愛しました。本展では、初期から晩年にいたる代表作に未発表資料も加えて展覧し、人間国宝・黒田辰秋の作品世界の真髄にせまります。

黒田辰秋《赤漆彫華紋飾手篋》1941年、漆 ヒノキ

### 高橋節郎館 リニューアル記念展(仮)

2025年1月18日 [土] - 5月18日 [日] 主催: 豊田市美術館



現代工芸を代表する漆芸家の高橋節郎(1914-2007年)。高橋は、これまで生活道具であった漆芸を、屏風や絵画などの美術作品として展開しました。本展では、高橋節郎館のリニューアルオープンを記念して、その革新的な漆作品の数々を紹介しします。

高橋節郎《蜃気楼》1960年、鎗金、彩錆絵、螺鈿

### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



## 豊田市博物館

2024年度、豊田市博物館では下記の展覧会を開催する予定です。

開館後最初の企画展は、豊田市内にも遺跡の多い縄文時代について、紹介します。縄文の造形美や人々の暮らし・交流にまつわる資料を一同に展示します。冬には国立科学博物館からの巡回展としてユネスコ無形文化遺産である「和食」を取り上げた展示を行います。

2024年度  
展覧会(予定)

### 博物館開館時の常設展等

2024年4月26日 [金] ー



常設展示室

豊田市の歴史や産業、自然をテーマにした常設展示や、体験型プログラムなどを楽しめる総合博物館がオープンします。

みんなで作りにつづける博物館として「あつめるプロジェクト」やえんにち空間活用など市民参加の展示や企画を行っていきます。

自然観察やむかしの暮らしを体験できる体験ゾーン、ショップやカフェなど豊田市の魅力を発信します。



### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



## 豊田市博物館

2024年度  
展覧会(予定)

### 開館記念特別展

## 旅するジョウモンさん—5千年前の落とし物—

2024年10月12日 [土] - 12月8日 [日]

主催:豊田市博物館



約1万年という長く続いた縄文時代。その中で彼らが落としていったモノ(出土品)は、遺跡や出土品といった形で今の私たちの前に現れ、暮らしぶりや使っていた道具、共に生きた植物や生物までもが分かるようになってきました。

本展では、日本列島を旅した縄文人(ジョウモンさん)と共に、彼らが落としていったモノを拾い集めながら、5千年前の縄文時代がどのような暮らしであったかを紹介します。また、国指定重要文化財(約25点)を中心に、市域及び日本各地の縄文時代に関する資料を展示します。

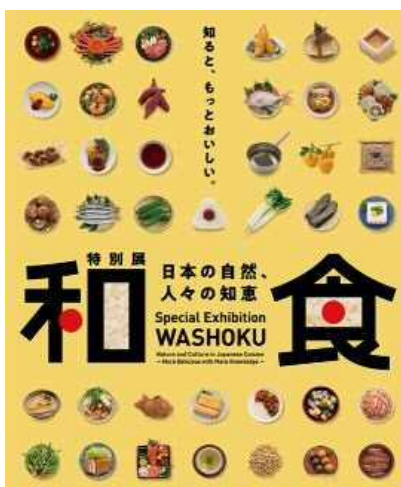
伝茨城県出土深鉢(田中縄文コレクション・豊田市蔵/小川忠博氏撮影)

## 特別展 和食—日本の自然、人々の知恵—

2025年1月18日 [土] - 4月6日 [日]

主催:豊田市博物館

共催:朝日新聞社、中京テレビ



参考図版

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて10年。世界中でますます注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点

から紹介します。

日本列島の自然が育んだ多様な食材や、人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史的変遷、そして未来まで、身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫ります。

### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ

**豊田市民芸館**  
Toyota City Folk Craft Museum

## 豊田市民芸館

2024年度、豊田市民芸館では下記の展覧会を開催する予定です。

クルマの街＝ものづくり産業の都市にある民芸館として、日本や世界の優れた手仕事に新たな光をあてる展覧会を開催。日常の暮らしに宿る美しさを追求する民芸の価値や魅力を発信していきます。

2024年度  
展覧会(予定)

### 企画展「美しき手仕事 一新収蔵品を中心に」

2024年4月9日 [火]-6月30日 [日] 主催：豊田市民芸館



〈胡桃手提げ籠、山葡萄手提げ籠 上村健三 2022年〉

豊田市民芸館では、民芸の普及・啓発のため、日頃から優れた資料を蒐集しています。本展では当館が近年蒐集した資料のうち、日本民藝館展の優品や数々の所蔵家から寄贈を受けた貴重な資料など、初公開資料を中心に約200点を紹介します。

### 特別展「或る賞鑑家の眼 一大久保裕司の蒐集品」

2024年7月13日 [土]-9月23日 [月・祝] 主催：豊田市民芸館



〈蚊遣り豚 江戸時代〉

故大久保裕司氏が蒐集した工芸品は、主に日本の中世から近世までの民衆が用いた陶磁器、硝子、木工、金工、小道具や朝鮮時代の諸工芸品などで形成されています。本展では大久保氏が生涯をかけてあつめた工芸品のコレクション約200点を紹介し、その蒐集の精華を紹介します。

### 3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ

豊田市民芸館  
Toyota City Folk Craft Museum

## 豊田市民芸館

2024年度  
展覧会(予定)

### 特別展「アイヌの美しき手仕事」

2024年10月12日 [土] - 12月15日 [日] 主催：豊田市民芸館 共催：中日新聞社



〈木綿切伏刺繍衣裳(部分) 北海道アイヌ 19世紀 日本民藝館蔵〉

日本民藝館創設者の柳宗悦(1889-1961年)は、アイヌ民族の工芸文化に早くから着目し、1941年には美術館で最初のアイヌ工芸展となる「アイヌ工芸文化展」を日本民藝館にて開催しました。その際、染色家・芹沢銈介(1895-1984年)は、同展の作品選品や展示を任されており、自身もアイヌの手仕事を高く評価し蒐集しました。本展では、日本民藝館所蔵の柳のアイヌコレクションと、静岡市立芹沢銈介美術館所蔵の芹沢のアイヌコレクションを紹介いたします。

### 特別展「民窯一食のうつわ」(仮)

2025年1月11日 [土] - 4月6日 [日] 主催：豊田市民芸館



〈日用雑器としてのやきもの〉

「民窯(みんよう)」とは、一般民衆が日々の生活のなかで使う器や道具などを焼く窯、またはそのやきもの自体を指します。民窯という言葉は「民藝」という言葉とともに昭和初期から広く使われるようになりました。今回の展示では、愛知県の瀬戸焼や常滑焼はもちろん、北は岩手県の久慈焼、南は沖縄県の壺屋焼まで、職人の手仕事による食にまつわるやきもの約200点を紹介します。また本展は豊田市博物館で開催予定の特別展「和食一日本の自然、人々の知恵」との連携企画として開催します。



お問い合わせ先

## 豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1 代表電話 Tel 0565-34-6610

HP : <https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- ・ 展覧会に関すること（学芸担当） Tel 0565-34-3131
- ・ 施設の利用、掲載依頼、取材等に関すること（庶務担当） Tel 0565-34-6748

## 豊田市博物館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町5丁目80番地 問合せ Tel 0565-32-6512

HP : <https://hakubutsukan.city.toyota.aichi.jp/>

## 豊田市民芸館

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100 問合せ Tel 0565-45-4039

HP: <https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>